

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1987 4・5

「特定サービス業実態調査」 デザイン業編について

去る2月、「JID NEWS 142号(1986・10月)」で既報の、「特定サービス業実態調査」デザイン業編についてを主な議題として、下記の会合があり、出席しました。以下、略式の報告記といたします。

・第5回デザイン団体情報交流会

日 時 62.2.25(水)

場 所 (財)日本産業デザイン振興会 会議室

出席者 通産省検デ課 森田デ奨班長・岩倉事務官

通産省大臣官房調統部 柳原, 下川事務官

JIDA 羽原事務局長

JPDA 後藤 "

JID 榎田渉外委員

JAGDA 藤本事務局長

JDF 国際デザイン交流協会

千葉理事

JIDPO 高藪常務理事

(以上10名, 敬称略)

(議案)「特定サービス業実態調査」デザイン業編について

各デザイナー団体の意見を聞く会

(内容) 調統 柳原氏より60年度報告書の内容につ

目 次

●「特定サービス業実態調査」 デザイン業編について	1
●61・臨時理事会議事録	2
●61・第6回理事会議事録	3
●委員会の動き	6
●事業支部の動き	7
●昭和62年度文芸美術国保案内	9
●会員の消息	10
●新入会員の紹介	11
●会員の異動	14
●事務局短信	16

き要旨説明、目下、61年度版の集計及び修正点等を進めるに当たり、実態に詳しい各位のご意見を入れ役立つ調査報告書を作りたい。今進めている内容は前回とほぼ同じ形式で進めている。

- ・検デ課より、報告書32頁表12を見ると従業者規模別で10人内外の事務所が口頭のみで契約し仕事をしている実態が伺える。本当にそうなのか？グラフィック系が半数以上をしめる実態から見れば、口約束的な契約でもけっこうデザイン業が成り立っていると思う。

- ・JIDPOより、6頁の図7、事業所別シェア表で4位、5位に群馬、栃木が突出しているが間違いではないか？

4頁デザインの県別をみれば正しいが、こゝは繊維屋が多い点。

布地パターンのデザイナーが意外に多い地域でグラフィック人口である。

- ・一人事務所の実態としてパッケージ等では従来企業所属デザイナーが退職し事務所を開設し一人で始めるケースが年10数件ある。

一人で経営が出来るのか？外註に出すとか、臨時に助人を加えれば可能。そうすると一人事務所の実態はもっと大きい数のはずだ。／従来は、電話帳の“デザイン”と付いている人を全部デザイン業として拾い上げたが、これは不正確だ（デザインパーマ、〇〇デザインショップ等意味不明確な表示が横行しているから）。

- ・このアンケート原案を協力作製する事務所の労は大変なのに無償はひどい。／私共の立場から見ると（調統）デザイン業界の他に、実態調査としては、ゴルフ場、情報サービス、レンタル業、広告業等要望は山積され、熱心に協力して下さる業種に優先権が与えられるのが実態。

この種の調査には国費が使われ、少ない人数で複雑な要素を整理、見易い統計を作り、地方官庁のお世話もいたゞき個別訪問、回収等も代行して貰う点膨大な経費が掛っている。

- ・何故そんな調査が必要か？実態が正しく把握され始めて他の業界と比較対象出来る。例えばデザイン業の要請が強く出ても、産業実態の面で他と比較し

てもやはりその要請は国として対処せざるを得ないと判断出来る。この様なメリットや税金対策、功勞表彰等なども総て社会的なデーターを基として進められる為である点をご理解いたゞきたい。

- ・アンケートの結果を詰めて行くと「デザイン業」の定義が不明確な点が各所に出てくる。定義と共に範囲や扱う業務内容、地域的習慣、業種内の特定解釈など統一すべき問題も多々ある。今後こうした面から皆様方専門分野のご協力をお願いしますとの要請がされた。（関東：榎田均）

（以上）

61・臨時理事会議事録

1. 日 時 昭和62年3月6日（金）1:30～5:00 PM

2. 場 所 JAA 3階会議室

東京都渋谷区神宮前2-3-16

建築家会館

3. 出席者 （別掲の通り）

4. 議 題

1. 議 案

第1号議案 昭和62年度総会準備について

＜新組織（案）等の審議＞

第2号議案 議事録署名人選任について

- 5. はじめに議事につき、議長として渡辺理事長より説明あり、進行に関して出席者の協力を求めた。

第1号議案 昭和62年度総会準備について

議長は事業委員会より提出された「JID事業計画案」に関して山内担当理事に内容の重点説明をもとめた。その骨子は事業をイベント、広報、交流、教育・研修、研究とし、相互の関連の中で、JIDとしてのプロモーションの成果をあげようというものである。議長はこの「計画案」の内容について理事会に諮り、基本部分については異議なくこれを承認した。また、各論については、各委員会との関連で、十分に煮詰めて行くこととされた。

次いで「JID組織改訂素案」の提出資料にもとづき、議長は森谷担当理事に内容の重点説明を求めた。森谷理事は、素案作成に到る総務・事業両委員会での作業経過に触れた。更にA、B両案の相違などを述べ、A案を中心に説明を行った。

これに対し、議長は上記A案と共に、この素案を基に、若干の修正を加えた、いわば「渡辺素案」を参考提示し、理事会に諮った。

理事会は、このA案を中心に討議し、原則として承認した。詳細は次回理事会に再度諮ることとした。

以下、討議事項の要約を列記する。

① 本部委員会と事業支部委員会との整合性をたじた。
(川崎)

② 理事会、選考委員会、選挙管理委員会等の、組織図上での立場、位置の確認を諮った。(議長)

③ 関東事業支部の在籍会員は、他事業支部に比較して大きなパーセントを示すが、その行う事業は本部事業とは劇然とした独立性を保つべきである。
(三輪、山内、宇賀、樋口、中村)

④ 「運営会議」の位置づけ、性格、構成員についての討議事項。

・「運営会議」は理事会に先立ち、隔月開催を原則とする。年2回程度「合同運営会議(仮称)」を開催する。

・位置づけ、性格は立案、遂行、調整等、生き生きとした実行的、横断的なものとする。

・「運営会議」の構成員は正・副理事長、部会長、委員長、事務局長とする。

・「合同運営会議(仮称)」の構成員は上記に加え、原則的に事業支部長とする。

また、必要に応じ、その他のメンバーも参加できる。

⑤ 昭和62年度より各委員会における担当理事制を廃し、関連する委員会をまとめた部会を作り、部会長には理事が就任する。

⑥ 事業支部には昭和61年度と同様、担当理事を置く。

⑦ 組織の改組に従い、現在の委員会細則を改訂する。
(中村)

⑧ 定款に定める記載条項との整合性を事務局長が確認する。
(中村)

⑨ 事務局の強化

組織の拡大を推進することに関連し、事務局を強化する。懸案の専任事務局長など、予算との関連は大きい。昭和62年度中には実施したい。(議長)

⑩ 基本事業部門と研究事業部門とのバランスある組織編成、事業実行が望まれる。
(山品)

⑪ 委員会をはじめ、組織全体の若返りが求められている。
(長岡)

以上、11項目のうち、②、③、④、⑤、⑥、⑨について、議長が確認を行い、理事会はこれを原則、了承した。

第2号議案 議事録署名人選任について

議長は議事録署名人に三輪正弘・山内陸平両理事の選任を提案し、承認を諮った。異議なく承認された。

(社)日本インテリアデザイナー協会61・臨時理事会に関し、定款第28条の定めるところにもとづき、議事経過の要領および議決事項を記するため議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議長 渡辺 優 印

議事録署名人 三輪 正弘 印

議事録署名人 山内 陸平 印

61・臨時理事会出席者名 (敬称略・順不同)

渡辺 優、川上 信二、中村 圭介、宇賀 敏夫
中川 千年、大野美代子、三輪 正弘、長岡 貞夫
樋口 治、川崎 浩、山品 元、山内 陸平
森谷 延周

理事総数15名中理事15名(本人13名、委任状2名)

61・第6回理事会議事録

1. 日時 昭和62年3月27日(金) 1:30～6:30 PM

2. 場所 JAA 3階会議室

東京都渋谷区神宮前2-3-16

建築家会館

3. 出席者 (別掲の通り)

4. 議題

I, 議案

第1号議案 昭和62年度総会準備について

第2号議案 名誉会員の推挙について

第3号議案 協賛・後援名義の件

第4号議案 入退会承認の件

第5号議案 議事録署名人選任について

5. はじめに議事につき、議長として渡辺理事長より説明あり、前臨時理事会に引き続き細部審議の第1号議案については、特に議事進行の協力が求められた。

第1号議案 昭和62年度総会準備について

① 昭和62年度事業計画（案）及び予算（案）承認の件

議長は各委員会よりの提示資料を参考に、作成された事業計画（案）につき、事務局長に内容説明を求めた。

事務局長は逐条的に読み上げを行い説明した。これに対し理事会は字句・文言の修正を行った結果、大枠でこれを承認した。なお、若干の調整箇所は、後日正・副理事長、総務担当理事、事務局長の協議に委ねることを了承した。

引き続き計画（案）の裏付けたる予算（案）について、議長は事務局長に説明を求めた。事務局長は内容の重点説明を行った。理事会はこれを同様大枠において承認した。

② 新組織（案）承認の件

前臨時理事会に上程の「J I D組織改訂素案」の細部調整である。各理事より活発に意見が開陳された結果、原案通り承認となった。

③ 昭和61年度中間決算（案）承認の件

議長は事務局長に内容の説明を求め、事務局長は62.2.28現在の中間決算をもって決算（案）の説明を行った。議長これを諮り、理事会はこれを承認した。

尚、事務局より併せて、「昭和60年度野口記念事業特別会計」の決算（案）が上程され、理事会はこれを承認した。

第2号議案 名誉会員の推挙について

定款第5条3項および会員規定第2条4項、第6条3項により、次の4会員の資料が上程された。審議の結果、議長これを諮り、理事会は満場一致で推挙を決定した。

村尾 平格	関 東 支 部
矢留 富三	関 西 支 部
宇佐美琢朗	関 東 支 部
要 信一	関 西 支 部

（敬称略）

第3号議案 協賛・後援名義承認の件

議長は次の2件について、事務局長に説明を求めた。事務局長は資料に基づき説明を行ない、また、前例にならって実施した項目について報告した。議長はこれを諮り、理事会は異議なく承認した。

○ 神奈川県デザイン協会設立10周年記念事業

主催 神奈川県デザイン協会

（62.4.11 クラフト展 4・9～11 小田原）

○ JAGDA IN AICHI 1987

『触感／グラフィック最先端』

主催 (社) 日本グラフィックデザイナー協会

（セミナー 5・30～31

作品展 5・28～6・6 名古屋）

第4号議案 入退会承認の件

議長は、次の12件につき事務局長に上程の主旨を説明させた。事務局長は、資料に基づき説明を行った。理事会はこれを諮り、いずれも異議なく承認した。

・正会員の入会（10件）

氏 名	種 別	保 証 推 薦 者
棒田 邦夫	（ 正 ）	小松 唳一・石田 忠昭
大森清次郎	（ ” ）	島崎 信・渡辺 優
尾形 栄	（ 準→正 ）	山永 耕平・中川 千年
宮城由紀子	（ 正 ）	長澤精一郎・今崎 務
川村 眞兄	（ ” ）	三輪 正弘・山品 元
坂野 隆一	（ ” ）	矢作 彩子・日方 和城
片柳 和男	（ ” ）	泉 修二・西沢 圭三
吉池 守	（ ” ）	” ・ ”
浜野 晴夫	（ ” ）	” ・ ”
鈴木身和子	（ ” ）	森谷 延周・小玉 靖子

・賛助会員の入会（1件）

社 名	種 別	紹 介 者
(株)観光企画設計社	賛 助	三輪 正弘

・退 会（1件）

氏 名	種 別	
白石 暁生	準 会 員	

第5号議案 議事録署名人選任について

議長は議事録署名人に泉修二・山品元両理事の選任を提案し、承認を諮った。異議なく承認された。

（社）日本インテリアデザイナー協会61・第6回理事会に関し、定款第28条の定めるところにもとづき、議事経過の要領および議決事項を記するため議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 渡 辺 優 印

議長録署名人 泉 修 二 ㊞

議事録署名人 山 品 元 ㊞

61・第6回理事会出席者名

渡辺 優, 川上 信二, 樋口 治, 泉 修二 中川 千年, 森谷 延周, 三輪 正弘, 長岡 貞夫 山品 元, 宇賀 敏夫
--

理事総数15名中理事15名(本人10名, 委任状5名)

(敬称略・順不同)

6. 報告事項(8件)

(1) 1986 JID 協会賞及び野口記念賞選考経過

本年はスケジュールが若干ずれ込んでいる。本日時点では両賞とも未だ検討中である。来る4月15日(水)に決定の予定となっている。以上、中間経過が川上副理事長(選考委員会委員長)より報告され、理事会はこれを了承した。

(2) 昭和61年下期(61.10.1～62.3.31のうち2.28時点まで)の財政報告

前記第1号議案③に関連して、会員の年会費納入状況を中心に報告された。また、61・第5回理事会第3号議案審議の借入実施について事務局長より報告され、理事会はいずれもこれを了承した。

(3) 「IFI 会員作品集出版特別委員会」進行状況

川上信二委員長より書名『GLOBAL INTERIOR』について中間状況が報告された。「収録作品についてはほぼ予定点数に達しているが、尚若干点数の到着を期待している。これから広告協力の段階に入るので、関係各位の積極的な支援をお願いしたい」とした。報告は了承された。

(4) 「新インテリアマップ専門委員会」進行状況

長岡貞夫委員長より書名『最新版インテリアマップ AREA TOKYO』について中間状況が報告された。

掲載予定数に関しては、およそ予定数に達し、順調である。当初の予定の3月発行から、5月中旬となった。協会の会員を主対象に出版会等を計画して、拡販したい。報告は了承された。

(5) 除名者の未納会費の入金について

先の、61・第5回理事会第2号議案審議により除名決定された者のうち、北市信雄氏より未納会費の入金があった旨、事務局長より報告された。

(6) インテリアデザイン教育に関するアンケート調査について

教育委員会で実施中のアンケート調査の進行状況が長岡担当理事により報告された。集計作業に向うとともに、事務量の関係で臨時アルバイトの活用などが必要になってくると思われる、と発言された。報告は了承された。

(7) 機関誌『インテリアデザイン』103号について

現在103号の特集テーマは「ハイテクノロジーとデザインツールとしてのコンピュータ」とされ、通常総会開催時点(5月末)に発行するべく企画編集集中である。以上、泉担当理事より報告された。報告は了承された。

(8) 第19回通常総会関係スケジュール

事務局長より下記のようにスケジュール(案)が提出された。

・昭和61年度委員長連絡会議 4月9日(水)

本部開催 (各事業支部長にも参加要請)

・昭和62年度第1回理事会 5月29日(金) 午前

東京開催

・第19回通常総会 5月29日(金) 午後 東京開催

理事会はいずれも了承した。

(以上)

第19回(昭和62年度)通常総会へ ご出席を

62年度の通常総会は来る5月29日(金)東京で行われる。全会員には来る5月9日総会議案書と案内を事務局から発送の予定です。

以下、簡単に日時、場所、スケジュールを再録いたします。

① 日時 5月29日(金) 午後1時30分～4時

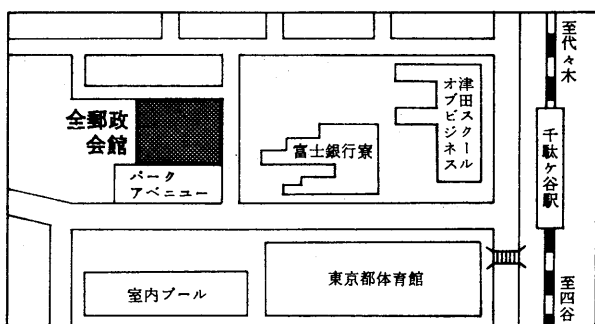
② 場所 東京・千駄ヶ谷・全郵政会館(次頁地図参照)

(電話 03-478-7101～7)

交通はJR(中央線)千駄ヶ谷駅、徒歩2分

③ 1986 JID 協会賞贈賞式と野口記念賞授与式及びパーティー 同日、同場所で午後5時～7時

案 内 図



J R (中央線) 千駄ヶ谷駅 徒歩 2 分
尚、駐車場の設備はありません。

委員会の動き

●国際委員会

— アジアデザインフォーラム'86

名古屋からの報告 —

現在、当 J I D の国際委員会では、アジアとの交流をテーマに活動しています。伝統文化の源泉をさぐると必ずそこにはアジアが浮かび上がってきます。アジアの人々には、自然と共存するバランスのとれた哲学を持っていると思われます。経済大国となった日本が、リーダーシップをとりながらアジアの心を表現するためには、アジアの人々との協働によって英知を結果しなければならぬと思われます。

最近、名古屋に於いても「アジアデザインフォーラム'86」が開催されました。このフォーラムは'89年に名古屋での開催が予定されている「ICSID 世界デザイン会議」、「世界デザイン博」のプレイベントとして、AMCOM開催を機に開催されました。(概要については J I D 機関誌 INTERIOR DESIGN 102 を参照)

このフォーラムの中から「海外からの報告」— インドにおけるデザインの現状と将来 (S・バララム ナショナル・インスティテュート・オブ・デザイン 副理事長) の概略ならびに今後の課題を報告致します。

インドでは、故ガンジーの思想がデザインの領域まで及び、「仲間意識からのコミュニケーション」を実践している。チームでの仕事を通して、プロセスを指向したデザインをメソッドとしたデザインの基礎教育を、デザイナーの使命としてとらえ、デザインをひとつの道具としてそれぞれの形や色として具現化するという手法がとられている。そしてその思想の根底には「デザイナーは一人

では動けない」という考え方が強く流れている。と同時に西洋のデザインのパラダイムの変遷及び地域的要因の活用特に目を向けている。

アジアのデザイン活動に対して。— インドでは、7 億もの人々が住み、21もの異った文化がある。その中で多様性の中の共通、伝統技術との共存、生産レベルの多様化、深い信仰といった問題に対処するために異った価値感の共存をめざしている。

アジアのデザイナーは現況では西洋に目をむけすぎているという批判とともに、インドの古いことわざが紹介された。

「窓から新しい風をとり入れなさい。

しかしその風に足をとられてはいけない」

インドでは、デザイナーの育成に対しローカルな風土の土着文化を学ぶために1979年から「はだしのデザイナー」というコンセプトのもとで、地方の村の人々のデザインを活用するために、トレーニングを行っている。それぞれのコミュニティで仕事をするためのトレーナーをトレーニングしている。そのために地方のフィールドワークショップの活用をし、デザインのブレンディングや、対等の立場での協働に目を向けている。こうした活動の背景には近代技術では伝統の問題を解決できないという認識がある。しかし同時に新しい問題が生まれることもある。以上が今回のフォーラムの海外からの報告の概略です。

(国際委員会 大橋 義博)

●渉外委員会

— 第1回賛助会員との交流パーティ —

日時 昭和62年3月12日(木) 18:30~20:00

場所 コスガギアボックス

昨年11月の渉外委員会と賛助会員との懇談会に続き今回から正会員の方々にも参加を募って交流会を開催した。ギアボックスの見学も含め、限られた時間であったが50数名の多勢のパーティとなり、活発な意見交換が行なわれた。正確で良質の情報を得る機会としてこの交流会を利用していただきたいと思います。今後互の関係が仕事の上で実質上のメリットになるように方法を検討してゆきたい。

(渉外委員会 見城 美子)

●広報委員会

一 全国会議報告 一

日 時 62.3.28(土) (16:00～24:00)
場 所 松坂屋熱海寮
出席者 吉良, 泉, 山岸, 阪井, 嶋, 岡部, 長嶋,
飯田(以上関東)
石村, 千田(以上関西)
田村(中部)
白石(サンリオ:オブザーバー出席)
以上12名(順不同, 敬称略)

議事内容

① 機関誌インテリアデザインについて

イ, 103号編集内容説明

一部内容の意見交換

ロ, 104号9月発行予定

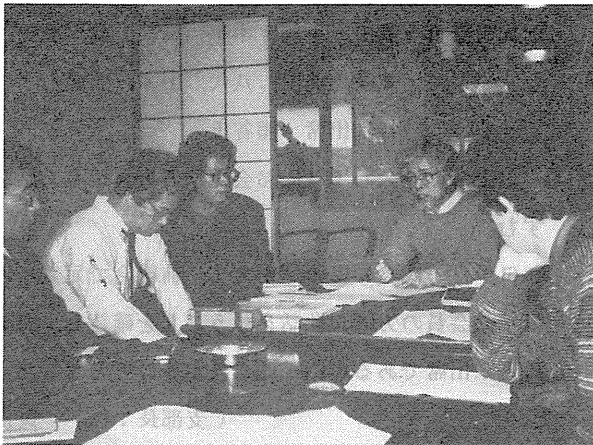
ハ, 105号63/1月発行予定

編集を大阪に一部依頼

ニ, 106号63/5月発行予定

現在, 東京(関東)中心に, 編集が行われている。
実施面では仕方がないが, その他のブロック(関西,
中部, 九州, (北海道))の参加の仕方を今後考
えていきたい旨の事が中心に討議された。

東京のように会員が簡単に集まらない。委員が移
動し過ぎるなど, 条件が悪い面, 多々あるとの話が
出たが, 前向きに検討しようという事で課題とした。



② 委員会におけるJ I D内の組織変更の話が, 担当 理事・泉氏より報告があった。

予算決定の報告も受けた。今期予算360万円。

③ フリートーク イ, 今回九州会員が参加できなかったが, 各ブロッ ク(関東以外)の広報委員どおしのコミュニケー

ションが難しい事。理由は, 距離的にはなれてい
る点。

ロ, ネットワークが明確に作られていない点。

これは, 委員を依頼する側と依頼される側との
間に, もう少しシステム化が必要なのかも知れな
い。

現在自主性にまかせている点にはっきりしない
原因が考えられる。手弁当的なコミュニケーション
には, 限界があるのかも知れないが……。

ハ, 機関誌とニュースとの役割と意味についても検
討された。

参加する機関誌作りは, 共通した意見として出
された。問題は, その方法論である。様々な意見
交換が行われた。歩みよらなければ何も生まれな
い。全てのこの協会で, 全国から集まる事は, た
いへんなエネルギーである。

今後, この様な話し合いが持たれ, 集まれる事
を望み閉会とした。

(委員: 飯田・公久)

事業支部の動き

●関東事業支部委員会

一 佐々木硝子工場見学報告 一

旧記となりますが, 去る3月20日(金)に上記見学会が
実施されました。以下ご報告申し上げます。

<見学会概要>

・場所 佐々木硝子株式会社東京工場

出席・内容 ガラス食器に関する講義と工場見学

当日は快晴に恵まれ, 参加者も盛況であったかと思
われました。また工場の十分なご配慮と応待で実
に有意義な半日を過ごさせて頂きました。場を通じ親睦を
深める事もできたかと思います。

ガラス食器に関し商品開発部長の竹内氏によるご丁寧な説明があり, 次いで2班に別れ工場見学となりました。見学後, 技術面・デザイン面に関して質疑応答が
かわされ, いっそう詳しく勉強になりました。私としては, 佐々木硝子のクラフト技術を支える力強い工場の方々と完備されたシステムに感嘆致しました。学生
の頃では考えられないような貴重な体験をさせて頂き, 関東支部委員会の委員の方々をはじめ, 関係諸氏,

特に吉永淳氏に厚く御礼申し上げます。

(東陶機器 株) : I. T.)

●関西事業支部委員会

一 昭和61年度中国・四国ブロックデザイン開発

指導連絡会議に出席 一

昭和62年2月20日広島通商産業局第一会議室に於いて上記連絡協議会が開催され、当協会より広島在住の沖本弘至会員及び栢原秀栄関西事業支部委員長の2名が出席。

会議次第にのっとり、通商産業省貿易局検査デザイン課 梶野昭三事務官より昭和61年度デザイン施策及び62年度予算の概要などの説明の後、各県のデザイン施策の概要と実施状況や将来構想等各県担当者より経過報告や説明がなされた。

昭和61年度の各県におけるデザイン指導作業の中で、当協会員も参加協力し活動されている様子が伺え力強く感じられた。

会議の終わり頃、行政のデザイン指導事業に対するシステムの在り方や、『デザイン』の定義も指導事業開始時期と今日とでは大きな開きがあり、『抜本的な改革』が望まれているのでは、との活発なディスカッションがなされ、有意義なブロック会議となった。

(支部長：栢原 秀栄)

●中部事業支部委員会

一 '87生活用品フェア ナゴヤ参加報告 一

今年度の生活用品フェア全景は経済状況が内需、輸出ともに非常にきびしい面が反影してか、出展企業数が昨年第2月の約120出展から大巾に下り、半分の63出展企業となっている。

更にその企業種別としては生活用品という巾広い中で直接現場で小売りをする企業が多く、未来にむけて或は今の生活を本当に考えてゆく為の商品、製品等をあつめている企業の出展は殆どなく、誠に淋しいかぎりの生活用品フェアであった。

こうした中でのJ I D中部支部の出展は今月で見たかぎり、まわりとの関連がなく入場者とのギャップがかなり大きいため、J I Dとしてのアピールは少ないと考える。J I D中部支部としてのプロポーションのあり方、

場を早急に考え、62年度にむけて行動しなければならない。

J I D中部支部のブースについて

ブースのレイアウトは事業委員長の山本氏の案で簡素の中に見やすい形で展示された。

会員出展 15名

賛助会員 トープラインテリア

ホートク の3社 パネル展示

東京デザイナー学院

特別出展 熊谷木材K.K.、山本氏設計の家具

上記参加していた皆さんに厚く御礼申し上げます。



J I D中部支部懇親会

62.1.31 5:00~7:00

第2浩養園 2階レストラン

今回の生活用品フェア参加を記念してささやかな懇親会を開催した。

参加者会員 池田、小柳、中里、長坂、林、堀内、本多、前田、八代、山本、広瀬

特別出席 熊谷氏

以上12名、久しぶりにお会いする方々が多く話がはずむ。

61年度の総会の場の話がでて、前総会で定っていた三重の会員の方にお世話を願うことを確認し、広瀬一氏と未出席である奥山氏に一任することとなった。

(支部長：林 寅正)

家具デザインコンペ募集案内

埼玉県家具工業組合で家具デザインコンペを募集している。以下、概要です。

・申し込み先

埼玉県家具工業組合

〒336 埼玉県浦和市常盤 3-18-20

ときわコーポ 802 電話 0488(33)9535

埼玉県工業技術研究所工業デザイン課

〒338 埼玉県浦和市木崎 3-10-1

電話 0488(33)1511~2

- ・申込メ切 62.5.20
- ・スケッチ等送付メ切 62.7.31
- ・送付先 埼玉県工業技術研究所工業デザイン課
- ・詳細問合せは上記、申込先へ。

です。一般国保より有利だと思います。特に家族数の少ない方はご検討下さり、加入されることをおすすめします。

なお、国民健康保険法の改正により、62年1月1日から被保険者証は、法的にも全国で使用できることになりました。

① 助産費・育児手当金

助産費 14万円

育児手当金 6万円

② 葬祭費

組合員、加入後5年未満 7万円

同 5年以上 9万円

同 10年以上 11万円

家族 5万円

③ 入院見舞金

加入後1年以上の組合員

1日につき1,500円(500円増額)50日間を限度

昭和62年度文芸美術国保案内

会員の中でも、文芸美術国保の有利さから、毎年加入する方々が増えてきています。

(表)でもおわかりのように、本年も保険料の改訂がありません。会員1人月額7,800円、家族1人月額3,800円

東京都23区保険料と組合保険料の比較表

(62.4)

62年度の住民税 (特別区民税・都民税)	東京都23区保険料年額 (住民税× $\frac{107}{100}$ + 1人につき12,000円) 最高限度額37万円						組合保険料 (組合員(月額) 7,800円 家族(月額) 1人 3,800円 年 額)
	10万円	15万円	20万円	25万円	30万円	35万円	
単 身 者	119,000円	172,500円	226,000円	279,500円	333,000円	370,000円	93,600円
家 族 1 名 (世帯人数 2 名)	131,000	184,500	238,000	291,500	345,000	370,000	139,200
家 族 2 名 (世帯人数 3 名)	143,000	196,500	250,000	303,500	357,000	370,000	184,800
家 族 3 名 (世帯人数 4 名)	155,000	208,500	262,000	315,500	369,000	370,000	230,400
家 族 4 名 (世帯人数 5 名)	177,000	220,500	274,000	327,500	370,000	370,000	276,000

(注) 太線内に該当する方は、文芸美術国保組合の方が収入に拘わらず一率料金のため、トクであることになります。

専門家のご紹介

既報のように、右記の専門家がJ I D会員のためにその道の相談にのって下します。節税対策など、特にフリーランスの立場にある会員諸兄にも、日常の業務に関連して会計上の疑問などが生じることがあろうかと思ひます。その際は時間の許す限り、電話問合せなども含め助言をお願いしてありますので、J I D会員であることを告げて、お気軽にご相談下さるようおすすめいたします。

小野木日出勝事務所

税理士 小野木 日出勝

(東京税理士会会員)

〒182 東京都調布市入間町 1-27

電話 03-309-6600

インテリア・プロダクト

作品写真撮影のお知らせ

会員の皆様にはますますご清栄のことと存じます。
このたび、デザイナーの方々のお仕事の大切な記録用としての、写真撮影部門を拡充いたしました。従来にもましてサービスさせていただきますので、ぜひ一度お試し下さいますよう、ご案内申し上げます。ご一報次第料金表など資料を急送いたします。ご用命のほど、お待ち申し上げます。

スタジオ アイ

〒143 東京都大田区大森北1-23-5

電話 03-765-7840

担当 竹 本 浩

く厚く御礼申し上げます。

なにとぞ今後とも一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。
(関東)

浦和市高砂1-15-1

株式会社伊勢丹 浦和店

第6販売係・インテリアデザイン担当

電話 0488-24-5111(代表)

◇ 香 川 顕 郎

お蔭様で元気でやっています。東京インテリアマップなど有難う御座いました。

2月11日、目出たくクロスセレモニーを終了し、プロダクトデザインのコースは、成功裡に終了する事になります。5ヶ年になんなんとするこのプログラム4で、始めてデザインのコースを持ったのですから、全く遅かったと言えましょう。「はじめにデザインありき」で行きたい所なので、フィリピンの関係者にも大変関心を持ってもらい、研修生はまあまあでしたが、皆興味を示し、熱心に勉強したように思います。「私の選んだ人を見て下さい」というわけで大いにPRして置きました。たゞ宇賀敏夫氏が考えて来た事と現地事情の間には、可成りの違いもあったかと思いますが、フィリピンの貧乏と、フィリピン人の物の考え方など……のためとご理解願いたいと思っています。彼は全く健康で、日夜見聞を広めてお帰りになりますので、豊富な話題がある事と思います。心から感謝致して居ります。又、J I D幹部の皆様へ、くれぐれもよろしく申し上げて下さい。

(在マニラ、PHRDCプログラム4リーダー)

◇ 遠 藤 原 一 郎

去る3月1日、プランハウス(株)の代表取締役社長に就任いたしました。つきましては微力ながら専心社業の発展に全力を傾注いたす所存でございますのになにとぞ前任者同様格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

プランハウス株式会社

移転先 〒420 静岡市鷹匠3丁目5番15号

第1フジノビル 3F

(電 話) 0542(47)3196

(ファックス) 0542(47)9001

会員の消息

◇ 勝 瀬 壮 一

早や初夏の季節が感じられるようになりました。去る3月、東京銀座松坂屋別館カトレヤサロンでの第14回高潮展(旧東京高等工芸学校・東京工業専門学校卒業生の絵画展)に出品し、皆様にご高覧にいただきました。J I D会員である豊口克平・広田長治郎・並川世平の諸兄の出品もありました。併せて報告いたします。

(名誉会員)

◇ 鳥 海 義之助

去る3月1日、下記の仮住所に移りました。日頃のご厚誼に厚く感謝申し上げます。

〒260 千葉市作草部町641-1

作草部ハウス1-404

電話 0472-51-9479

尚、6月初旬には、新居に再度移る予定でございます。

(名誉会員)

◇ 長谷川 隆 之

去る2月より浦和店勤務を命ぜられ業務に励んでおります。

本店建装部在動中は格別のお引立てをいただき有り難

◇ 故 秋 田 嘉 正 様

あれほど元気にしていらした秋田嘉正様が急逝された。
享年57歳の若さであった。

長い間メーカーのデザインセクションで活躍され、最
近は岐阜の女子短大教授として後進の指導と、ご自身の
仕事とで張り切っておられただけに、言葉がない。

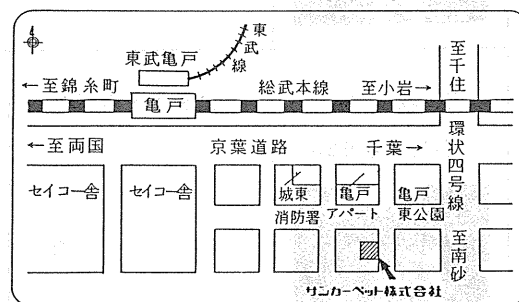
葬儀は2月28日大阪市天王寺区下寺町1-3-56、西
往寺において、デザイン関係の方々をはじめ旧知の方々
多数参列してしめやかに執り行われた。

J I Dからも川崎理事、栢原支部長はじめ金子誠之助
会員、山崎晶会員など多数列席弔意を表した。
故人のご冥福を心よりお祈りいたします。 合掌。

◇ サンカーペット株式会社

日頃は専門家各位のお引立てをいただきありがとうございます。
ざいます。

このたび、社業拡充のため、昨冬より下記に事務所を
移転しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



〒136 東京都江東区亀戸6丁目53番

電話 (03) 636-7720(代) FAX (03) 636-7726

新入会員の紹介

●新入会員

(正 会 員)

会員名及番号		住 所 及 電 話
ぼう だ くに お 夫 棒 田 邦 夫 (会員番号622) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	金沢女子短期大学 石川県金沢市末町10 〒920-13 0762-29-1181 (内 436) 石川県金沢市旭町1丁目25-24 〒920 0762-62-6530 小 松 暁 一 ・ 石 田 忠 昭
おお もり せいじ ろう 大 森 清次郎 (会員番号623) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	SKIDMORE, OWINGS MERRILL 220 EAST 42nd STREET NEW YORK, NY 10017 212-309-9500(内 707) 150 BURNS STREET FORESTHILLS, NEW YORK 11375 U. S. A. 718-268-6550 島 崎 信 ・ 渡 辺 優

おが た さかえ 尾 形 栄 (会員番号 624) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	アトリエ アイ 宮崎県延岡市幸町 2 丁目 25 〒882 0982-21-0644 宮崎県延岡市新小路 1 丁目 6-10 〒882 0982-32-4978 山 永 耕 平 ・ 中 川 千 年
みや ぎ ゆきこ 宮 城 由紀子 (会員番号 625) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) 宮城デザイン事務所 東京都渋谷区代々木 5-61-1 〒151 03-485-5019 東京都渋谷区代々木 5-61-1 〒151 03-485-5019 長 澤 精一郎 ・ 今 崎 務
かわ むら まさえ 川 村 眞 兄 (会員番号 626) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	一級建築士事務所 (株) 観光企画設計社 東京都港区愛宕 1-2-2 第9森ビル 〒105 03-434-4671 東京都世田谷区池尻 3-13-3・303 〒157 03-419-0920 三 輪 正 弘 ・ 山 品 元
さか の りゅう いち 坂 野 隆 一 (会員番号 627) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) アレックス 東京都目黒区中町 1-6-14 〒153 03-710-7711 東京都目黒区碑文谷 3-3-12-403 〒152 03-792-7422 矢 作 彩 子 ・ 日 方 和 城
かな やなぎ かず お 片 柳 和 男 (会員番号 628) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) 片柳和男デザイン事務所 東京都北区田端新町 1-5-2 〒114 03-893-5061 東京都北区田端新町 1-5-2 〒114 03-893-5061 泉 修 二 ・ 西 沢 圭 三

よし いけ まもる 吉 池 守 (会員番号 629) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株)西武百貨店(池袋店) 東京都豊島区南池袋 1-28-1 〒171 03-981-0111(内 2529) 埼玉県狭山市入間川 1417-1 コート狭山台 3-104 〒350-13 58-2104 泉 修 二 ・ 西 沢 圭 三
はま の はる お 浜 野 晴 夫 (会員番号 630) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株)スペース・プロダクト 東京都北区田端新町 1-20-1 〒114 03-894-6855 東京都中野区弥生町 1-18-17 〒164 03-372-1033 泉 修 二 ・ 西 沢 圭 三
すず き みわこ 鈴 木 身 和子 (会員番号 631) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	フ リ ー 埼玉県川口市川口 4-11-2 川口ハイツ 408 〒332 0482-53-9046 森 谷 延 周 ・ 小 玉 靖 子

訂 正

前号 1987-1・2月号でご紹介の新入会員菊池隆夫氏のお名前にミスプリントがありました。謹んで訂正いたします。

(正) 菊 池 (誤) 菊 地

●新入会員

(賛助会員)

会 員 名		住 所 , 電 話 及 ご 担 当 者
(株)観光企画設計社	住 所	東京都港区愛宕 1-2-2 第 9 森ビル
		〒105 03-434-4671
	担 当 者	取締役インテリア設計部長 川 村 眞 兄
	紹 介 者	三 輪 正 弘

●会員の異動

(名譽会員)

会 員 名	異 動 事 項	新
鳥 海 義之助 (関 東 P 33)	自 宅	〒260 千葉市作草部町 641-1 作草部ハウス1-404 電話 0472-51-9479

(正 会 員)

長 岡 貞 夫 (関 東 P 98)	スタジオ 移 転	〒180 武蔵野市吉祥寺南町 3-25-11 電話 0422-43-2360 FAX 0422-44-5760
長谷川 隆 之 (関 東 P 102)	転 勤	(株)伊勢丹 浦和店 第六販売係 インテリアデザイン担当 〒336 埼玉県浦和市高砂 1-15-1 電話 0488-24-5111(代)(内 3630)
高 川 恵三郎 (関 東 P 86)	自 宅	〒134 東京都江戸川区南葛西 5-3-6-503 電話 03-686-9444
遠 藤 原 一 郎 (関 東 P 51)	勤 務 先	プランハウス(株) 代表取締役社長 〒420 静岡市鷹匠 3丁目 5-15 第1フジノビル 3F 電話 0542-47-3196 FAX 0542-47-9001
田 辺 麗 子 (関 東 P 91)		女子美術大学デザイン科 教授
小 玉 靖 子 (関 東 P 72)	部 署	コーディネートスタジオ 電話 03-981-0111(内線 2546)

(賛助会員)

サン・カーペット(株) (P 253)	東京支店 移 転	〒136 東京都江東区亀戸 6丁目53 電話 03-636-7720(代) FAX 03-636-7726
トーツー出版(株)	移 転	〒103 東京都中央区東日本橋 1-3-13 丸大ビル 4階 電話 03-865-8341 FAX 03-865-8424

委員会開催

〔3月〕	6日	61・臨時理事会	〔4月〕	27日	61・第6回理事会
	7日	教育委員会		27日	国際委員会
	9日	I F I 会員作品集出版特別(委)		28日	) 広報委員会全国会議
	12日	渉外委員会		29日	
		第1回賛助会員との交流パーティ		30日	教育委員会
	14日	教育委員会		3日	広報委員会座談会
	18日	選考委員会		8日	渉外委員会
	20日	総務委員会		9日	支部長・委員長合同会議
	20日	関東事業支部		9日	出版特別委員会
		佐々木硝子東京工場見学会		13日	教育委員会
	23日	広報委員会		15日	選考委員会
	24日	新マップ専門委員会		17日	総務委員会
	25日	出版特別委員会		17日	新マップ専門委員会
	26日	I F I 会員作品集出版特別(委)		23日	資格制度対策委員会
				24日	国際委員会

会議・会合出席

〔3月〕	18日	(社)インテリア産業協会理事会	〔4月〕	11日	神奈川県デザイン協会設立10周年記念 念てい談, 記念式典・記念パーティ
		出席者 渡辺 優			出席者 山品 元
	19日	(財)生活用品振興センター理事会		18日	(社)インテリア産業協会理事会
		出席者 渡辺 優			出席者 渡辺 優
	20日	(財)工芸財団 国井喜太郎産業工 芸賞贈呈式記念パーティ		23日	第6回デザイン団体情報交流会
		出席者 川上 信二 他			出席者 渡辺 優 山品 元
	30日	(社)商業施設技術団体連合会・理 事会			(敬称略)
		出席者 渡辺 優			

寄贈図書（・印寄贈者）

	書（誌）名	月 日	備 考
・（社）総合デザイナー協会	1987 会員名簿	2・24	
・北 原 進	インテリア 北原進モダニズム	2・24	
・和信化学工業（株）	木材塗装仕上げ標準見本帳	2・27	
・通商産業省生活産業局	ニューオフィス	3・13	
・（財）通商産業調査会	〃	3・13	
・（協）ジャパン・ファニチャー・センター	ユーザーの個性化ニーズに 対応する家具業界のあり方	3・16	
・トーソー出版（株）	ウィンドットリートメント	3・17	
・（財）日本陶磁器意匠センター	THE THIRTIETH ANNIVERSARY JAPAN POTTERY DESIGN CENTER 1956 30年の歩み 1986	3・23	
・（社）インテリア産業協会	会 員 名 簿	4・13	
・式 田 完	昭和60年度活路開拓ビジョン調査事業報告書 昭和61年度活路開拓ビジョン実現化事業報告書	〃	
・（社）日本パッケージデザイン協会	年鑑「日本のパッケージデザイン1987」	4・16	

（03-403-3649 伊藤）

事務局短信

- ① 桜花清明の季節が過ぎ、事務局の窗外も、緑風さわやかな光景に一変しました。しかし、北海道の会員は桜もこれからでしょう。日本列島も広いです。
- ② 事務局では現在、新年度になり事務一新と5月29日（金）開催予定の総会に向け、多忙を極めています。
本年度は組織拡充の計画の関係で、スケジュールが若干延びたこともあってスケジュール挽回に大奮です。
- ③ 「総会議案書」はおおよそ5月12日前後にお手元に届くと思います。ご多忙でしょうがどうぞ内容ごらんの上、総会には積極的にご出席下さい。
- ④ 例年のように、「文芸美術国民健康保険」案内を載せました。保険料は、ここ3年据置きです。日本グラフィックデザイナー協会のように、多数会員が加入しているところもあります。ご存知のように、この健保は、J I D会員でなければ（個人的には）加入できない団体健保です。一般の国保で済ませている方は、一度ご検討の価値はあると思います。資料は事務局まで。

⑤ 昭和61年度会費未納の方へ

昨年度より監督官庁の助言もあり「公益法人会計基準」の完全実施の線で、事務改善を進めています。未納者の抽出もより明確に行えるようになり、総会をはじめ理事会等への報告をスピーディに処理します。当該会員各位の納入へのご理解とご協力をお願いする次第です。

- ⑥ 昭和60年度版に引続き、昭和61年版「デザイナー情報カード」（中小企業事業団中小企業情報センター編）がこのほど事務局に届きました。賛助会員各位のご利用をお待ちしております。

- ⑦ 事務局では現在、次のアンケート実施を検討中です。6月頃になると思いますが、その折はどうぞご協力と卒直なご意見をお願いいたします。

「年会費の自動振込についてのアンケート調査」

- ⑧ 今夏、8月17日～22日はDESIGN'87 AMSTERDAMと呼ばれるデザイン3分野（インテリア、インダストリアル、グラフィック）のジョイント会議が、アムステル

ダム市の全面的な協力で、多彩に繰り広げられます。
1981年のヘルシンキジョイント会議で決定した6年目
にあたります。5月中旬、研修旅行などのご案内をす
るべく、現在、準備中です。

遅れます。本号もご迷惑をおかけいたしました。尚、
残念ながら3月号は欠号となりました。お詫びいたし
ます。

(事務局)

⑨ 期末・期初は「JID NEWS」の発行がどうしても

J I D 賛助会員ディレクトリー(抜粋)

(株) サンゲツ 東京店 東京都品川区東品川 3-20-17 〒140 (03) 474-1181 東京店 営業2課 係長 岩丸秀哲	(株) ステンドグラスギャラリーノブ 東京都目黒区碑文谷 2-21-6-706 〒152 (03) 793-6663 柴田亘輝 (企画開発営業)
(株) 志野陶石 京都市中京区御池御幸町西・北側 〒604 (075) 222-2311 奥野一哉 (広報部)	ス ナ バ (株) 東京都台東区松が谷 3-1-12 〒111 (03) 843-6721~5 畑野幸弘 (営業部長)
(株) 商 園 東京都港区六本木 5-16-22 〒106 麻仁ビル六本木 302 (03) 505-4631 藤原義弘 (取締役)	住 江 織 物 (株) 東京支店 東京都港区三田 3-13-16 〒108 三田43森ビル 8F (03) 456-3011 木本和弘 (第二販売部部長)
す ず ら ん 工 業 (株) 工場：愛知県宝飯郡小坂井町伊奈字佐脇原 415 〒441 (05337) 2-3191 西村克之 (専務取締役)	(株) 住之江工芸 大阪市西城区南津守 7-15-8 〒557 (06) 659-2668 荒井英雄 (代表取締役)
ス タ イ ル フ ラ ン ス (株) 東京都千代田区一番町 22-1 〒102 一番町セントラルビル (03) 234-0186 ジャンヌ・ゴルベスト・スィジェ (代表取締役)	(株) 西武百貨店 東京都豊島区南池袋 1-28-1 〒171 (03) 987-8360 建装事業部建装部長

JID NEWS

1987 / 4・5

頒価 300 円 (送料共)

昭和62年4月25日発行 (日本インテリアデザイナー協会月報1987年通巻第145号)

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会

印刷所・(社) コロニー印刷

振替・東京 8-76389

専門家のための高級インテリア展示会



Leading companies and
official national groups
from Belgium, Holland,
Spain, U.K., Ireland, Den-
mark, Finland, France,
Italy, and West Germany.

ヨーロッパ・リビング・エレガンス展

会場・東京池袋サンシャインシティ 1987年5月27日(水)〜30日(土)

ヨーロッパの高級家具、織物、磁器、ガラス器具などは、日本でも高い評価を受けています。この5月、それらを一堂に集めた展示会が開催されることになりました。

この展示会は、プロのバイヤー、デザイナー、ディスプレイなどの専門家を対象として行われるもので、落ち着いた雰囲気の中で、じっくり商品の内容を検討し、商談もできるという、極めてユニークなトレード・エキシビジョンです。

雅 LIFESTYLE
EUROPE

資料と入場券のお申込みは、(株)イー・エム・エス (東京都新宿区新宿
4-2-21 相模ビル5F 電話 (03)350-5666 FAX (03)356-6200)、市川まで。